

第七十八回句会 俳句

【高点句】

- ☆レシートの長き買い物年用意 〈眞澄〉
- ☆初仕事お国の銘菓そこかしこ 〈安津子〉
- ☆海穏やか機長の御慶聞きながら 〈明美〉
- ☆タクシーの訛りに和み冬ぬくし 〈明美〉

【各自一句】

- ・集まれる顔ぶれ変はり雑煮椀 〈緑〉
- ・指あとの残りし母の丸き餅 〈美保〉
- ・新年を知るか知らずか鳥は鳴き 〈莫院〉
- ・自転車の前後で歌う息白し 〈撫子〉
- ・筆鋒の乱れし賀状病告げ 〈伸子〉
- ・日記買ふ黄緑色の革表紙 〈郁代〉
- ・鱸酒や今宵も同じ話して 〈明美〉
- ・どっさりの伊予柑届き文二行 〈眞澄〉
- ・疫病の退散込める去年今年 〈隆司〉
- ・子規詠みし城そのままに冬の空 〈一馬〉
- ・初晴の見送る背の頼もしき 〈安津子〉
- ・ちぎり絵を貼るかのごとく雪落ちる 〈哲雄〉
- ・同僚と富士山仰ぎ初仕事 〈青蛙〉

\*以上、40句（3句ずつ13名と1句が1名）より、選句は14名により4句ずつ

\*高点句は、高得点の句より3句（今回は第2位が同点で3句）

\*各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による（得点順ではなく、俳句一覧表に偶然記載された順に掲載／1名は掲載辞退）